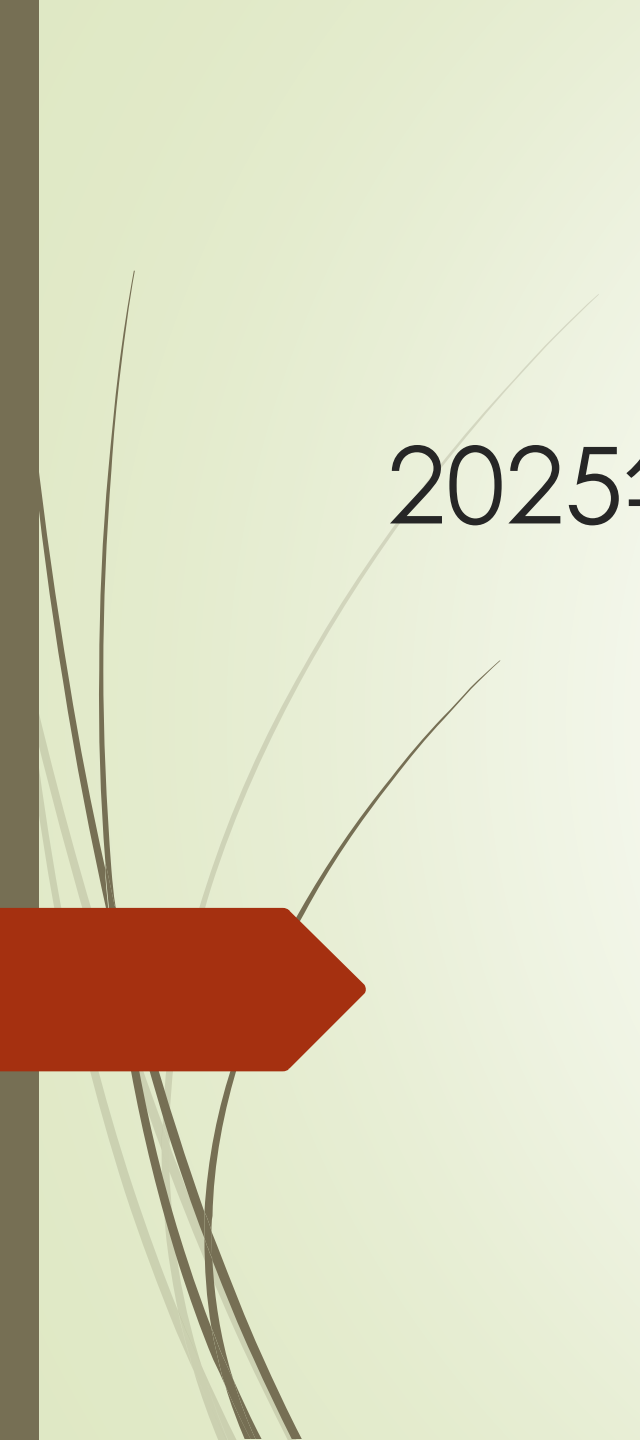




2025年度大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業

堺ブロック

シャローム訪問看護ステーション

中野 絵利



目標

- 1.多職種向けACP研修を成功させ、地域での定着を促進する
- 2.訪問看護ステーションの運営、業務全般の助言や指導、制度や診療報酬について正しい知識が得られる。
- 3.研修会を通じて看護の専門知識や技術を深める。

研修事業(集合研修)

①開催日：2025年7月19日（土）14：00～17：00
人生会議（ACP）支援実践人材育成研修
場所：泉州看護専門学校
目標人数：50名
実参加日数：53名
アンケート回収数：受講前46名 受講後29名



2025年度大阪府訪問看護実践研修事業教育ステーション事業
「令和7年度大阪府人生会議相談対応支援事業」
一般社団法人大阪府訪問看護ステーション協会・増ブロック教育ステーション・シャローム訪問看護ステーション

看護師・セラピスト・ケアマネジャー
薬剤師・介護職等 多職種対象

人生会議（ACP）（アドバンス・ケア・プランニング）の
実践に必要な基本的な概念や知識・方法がわかる

**人生会議（ACP）
支援実践
人材育成研修**

2025.7.19 Sat
13:30～17:00 受付 13:00～

参加費
無料

定員
50名

一緒に学びましょう！

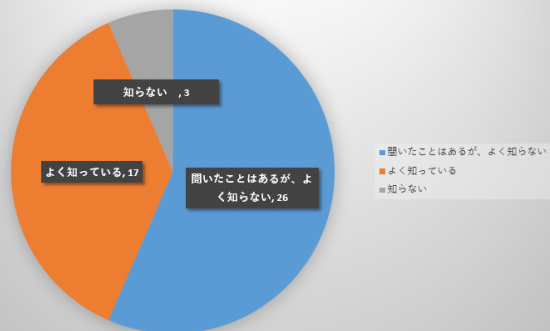


申し込み
お問い合わせ シャローム
訪問看護ステーション ☎072-224-7707

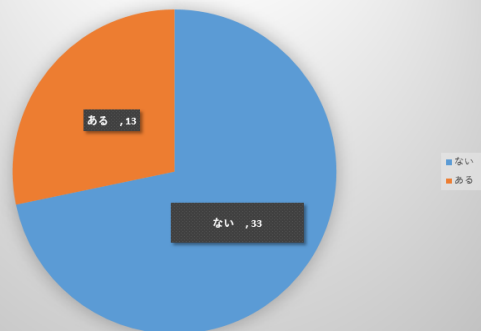


研修事業(集合研修)

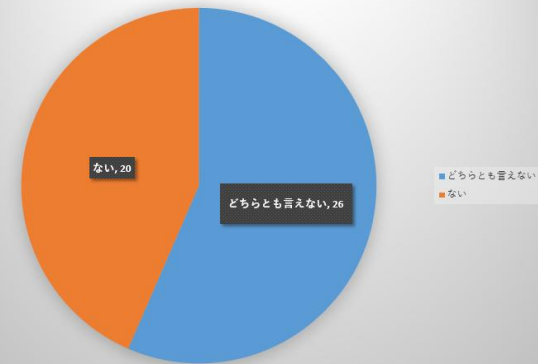
「人生会議(ACP)」について、
これまで知っていましたか



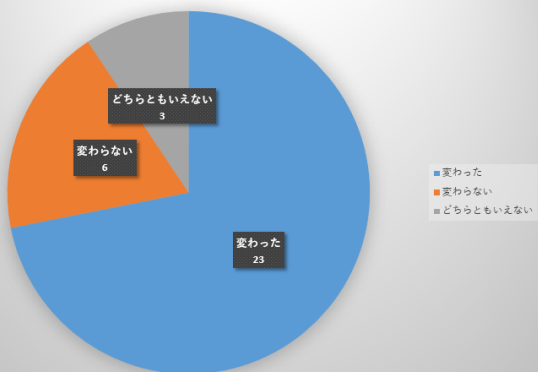
「人生会議(ACP)」について、
実践の経験はありますか



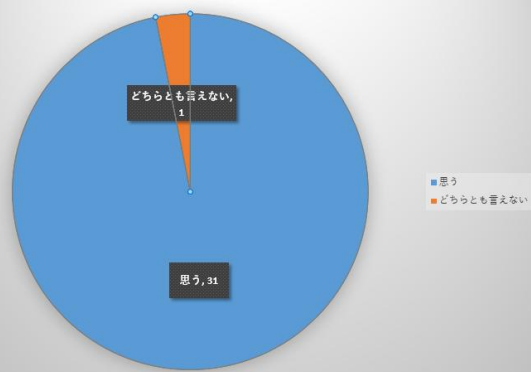
「人生会議(ACP)」の実践の自信はありますか



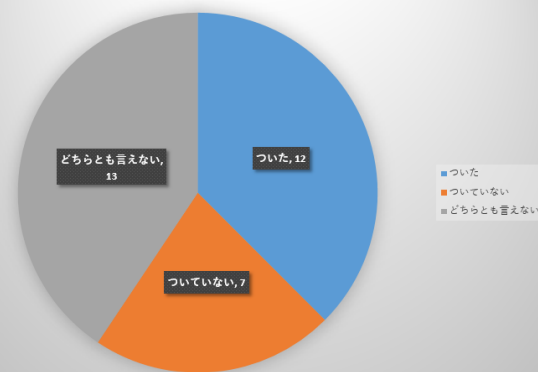
受講前後でACPのイメージは変わったか



今後、ACPを実践しようと思うか



ACP実践の自信はついたか



研修事業(集合研修)

②開催日：2025年9月12（金）18：00～19：00

テーマ：食事中のヒヤリに備えよう！

～接触・嚥下の仕組みを知って、正しく誤嚥・窒息を対応しよう！～

場所：みみはらホール

目標人数：30名

実参加人数：34名



2025年度大阪府訪問看護実践研修事業 堺ブロック教育ステーション事業

食事中のヒヤリに備えよう！

摂食・嚥下の仕組みを知って、正しく誤嚥・窒息対応しよう！

9月12日(金) 18:00～19:00

会場：みみはらホール 堺市堺区協和町4丁465 定員 30名

講師：シャローム訪問看護ステーション 言語聴覚士(ST) 前川昌文

現場で活躍中の言語聴覚士を講師に迎え、窒息時の対応を学ぶ研修を開催。質疑応答の時間もごさいます。

- 摂食嚥下のメカニズム
- 誤嚥性肺炎の基礎知識
- 窒息の基礎知識
- 窒息の対応手順
※動きやすい服装でお越しください。
- 気道異物除去
トレーニング
ベストを使った
実技あり

対象者：訪問看護・介護職・リハビリ職・管理者・その他関心のある職員

お申込は裏面をご覧ください

お問い合わせ
シャローム訪問看護ステーション TEL 072-224-7707
堺市堺区大仙中町6-2 担当窓口：大川内



研修事業(ZOOM)

開催日：2025年11月14日（金）18：00～19：15

テーマ：事例検討

配信方法：ZOOM

目標人数：30名

アンケート回収数：45名



2025年度大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業 堺ブロック

「どうやって乗り越えた？」仲間の経験から学べる

Zoom 教育ステーション
研修 事例検討会



11月 **14日** ^金 18:00～19:15

参加費
無料

定員
30名

講義内容(順不同)

『最期の療養場所の選択に難渋した一症例～利用者の本当の姿と家族の苦悩～』
たつみ訪問看護ステーション 赤坂 桃子

『双極性感情障害とアルコール依存症を併せ持つ利用者の孤独と不安への支援について』
訪問看護ステーション和音 小西 春菜

『ACPIいろいろ・実践報告』
美英訪問看護ステーション 山本 ゆかり

『訪問看護におけるエコーを活用した排泄ケアの実際』
よどぎ訪問看護ステーション 新聞 こずえ



申込はFAXまたはWebで FAX:072-224-7705 締切:11月7日(金)

所属・事業所名

氏名

Tel/Mail

WEB申込↓



申し込み
お問い合わせ

シャローム
訪問看護ステーション

☎072-224-7707

府民への相談支援事業

開催日：2025年5月18日

地域のイベントに参加 9:00～17:00

健康相談ブースを設けて、バイタルチェックとインボディ測定
訪問看護の案内のチラシ配布

参加者：血压173名 握力219名 インボディ96名

訪問看護のチラシを血压測定時、通りすがりの人へ計100枚配布



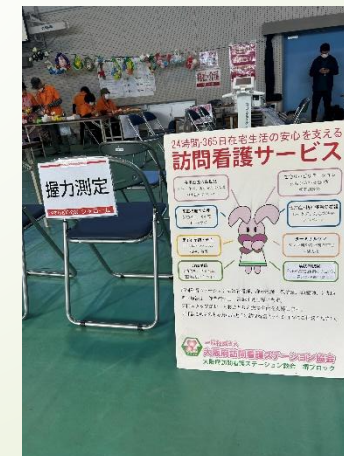
開催日：2025年11月15日

東浅香山校区祭り参加 9:00～12:00

健康相談ブースを設けて、バイタル測定とインボディ測定
訪問看護の案内のチラシ配布

参加者：血压15名 握力22名 インボディ63名

訪問看護のチラシを50枚準備、30枚配布



訪問看護体験研修事業

【看護業務】

9：00 朝のミーティング参加

9：30 オリエンテーション

訪問看護の対象者、内容、システム、訪問バックについての説明

10：00 同行訪問（1～2件）

12：00 休憩

13：30 同行訪問（1～2件）

16：00 振り返り、記録

17：00 帰宅

目標数：4名 実施：5名

訪問看護体験研修事業

【管理業務】

9：00 朝のミーティング参加

9：30 オリエンテーション

訪問看護の対象者、内容、システム、訪問バックについての説明

10：00 管理業務の講義

スタッフ管理、訪問シフトやスタッフ教育

12：00 休憩

13：30 同行訪問（1～2件）

16：00 振り返り、記録

17：00 帰宅

目標1名 実績2名

電話FAX相談Q&A事業

受付：月～金曜日 10：00～16：00

広報方法：大阪府訪問看護ステーション協会HP、堺ブロック会員・非会員へ郵送案内
MCS広報、病院の地域連携へ直接広報

目標数：20名 実施：29名

【相談内容】

制度：9名 報酬関係：5名 請求：4名 書類：2名 指示書：2名
その他7名

コンサルテーション事業

【電話サポート】

目標数：1名 実施：1名

内容

専門看護師として訪問看護ステーションで研究を行った場合の倫理審査はどこで受けれるか？
相談があり、堺ブロックでの専門看護師のつながりも考え
協力ナースに依頼しコンサルテーション実施。

【対面サポート】

目標数：1名 実施：3名

内容

真皮を越える褥瘡の今後の処置の相談あり、皮膚排泄ケア認定看護師の協力ナースにて同行訪問。
言語聴覚士が寝たきりで経口摂取困難な方に対する理解を深めたいと相談、言語聴覚士の訪問に
同行。
呼吸療法認定士の資格を受けるにあたり人工呼吸器の利用者への同行がしたいと相談、協力ス
テーションにて同行訪問。

地域における協力体制についての気づき

専門的な知識は専門看護師へ依頼することで自ステーションの負担軽減となった。

前年度はACP研修の集客に難航したため、今年度は協力ステーションへチラシを20部郵送して周知に協力を求めることで教育ステーション事業に関わりをもってもらった。

電話FAX相談事業やコンサルテーション事業を協力ステーション、協力ナースに依頼することで自ステーションの負担の軽減になったが謝金や書類の送付などの事務的な負担が増えた。

設定した目標の評価

1.多職種向けACP研修を成功させ、地域での定着を促進する。

多職種でのACP研修を実施することができ、看護職以外の職種がACPへの一歩が踏み出せた。ACP研修は何回受講しても学びがあるので多職種で受講できる研修が地域で定期的に行われる必要がある。

2、訪問看護ステーションの運営、業務全般の助言や指導、制度や診療報酬について正しい知識が得られる。

電話相談、管理業務体験で日々の疑問を解決し訪問看護事業が問題なく実施できる学びがあった。今後も相談できる窓口は必要と考える。

3、研修会を通じて看護の専門知識や技術を深める。

集合研修では実際に体験することで学びを深め、事例検討会では今後同様のケースでの問題解決の糸口となり学びとなった。

今後も専門知識や技術を深める研修を実施し、訪問看護の質の向上を目指す必要がある。

教育ステーション事業全体の効果と次年度の課題について

教育ステーション事業は孤立しがちな訪問看護ステーションの支援・相談として有効であり
学びの場の提供することで地域全体の看護の質の向上につながった。

また府民活動では地域の声を聞きニーズを把握し訪問看護を周知することができた。

次年度以降は協カステーションで協力して事業を行い、

もう少し事業を簡便に活用できるような方法があればよいと考える。